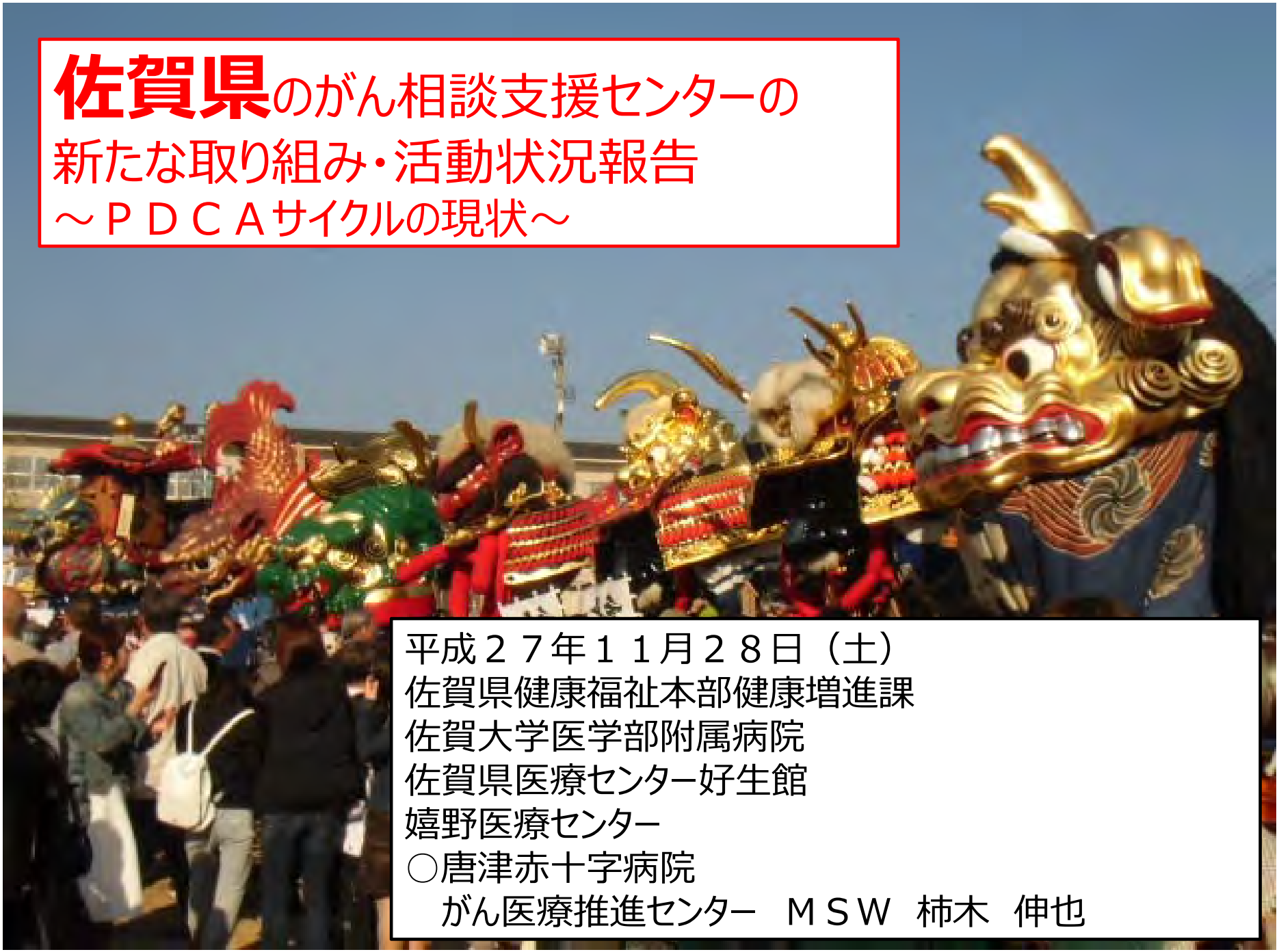
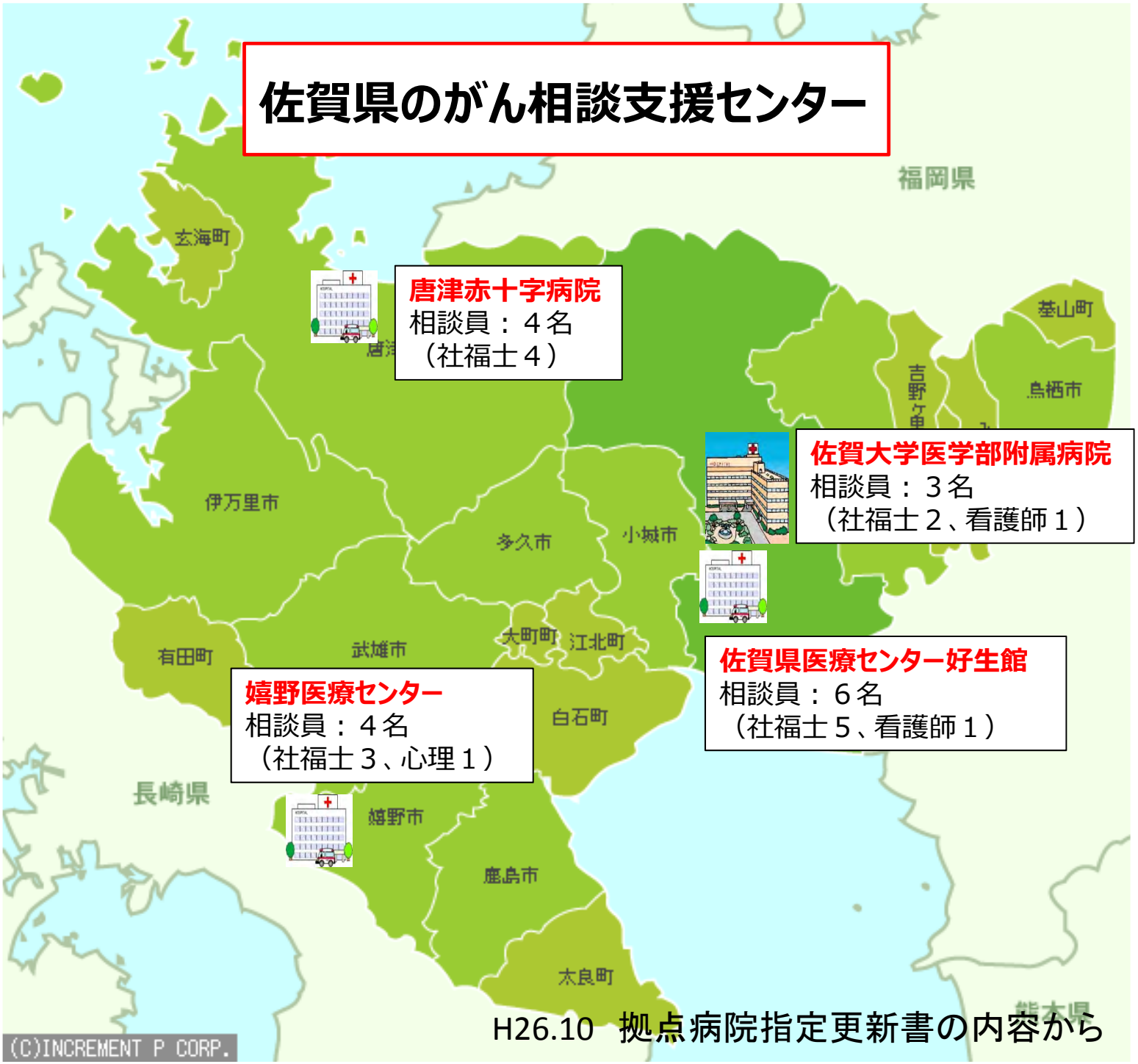


佐賀県のがん相談支援センターの新たな取り組み・活動状況報告
～ＰＤＣＡサイクルの現状～

平成２７年１１月２８日（土）

佐賀県健康福祉本部健康増進課
佐賀大学医学部附属病院
佐賀県医療センター好生館
嬉野医療センター
○唐津赤十字病院
　がん医療推進センター　ＭＳＷ　柿木　伸也

佐賀県のがん相談支援センター



H26.10　拠点病院指定更新書の内容から

ビジョン：「佐賀県内のがん患者・家族に対して切れ目ない
相談支援・情報提供が行われる体制を整備する」

佐賀県のがん相談支援センターの取り組み

- ☑ 地域多職種向け研修会を実施した
- ☑ がん相談支援センター連絡会（四半期ごと）を開催した
- ☑ 新 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015佐賀に参加をした
- ☑ 新 就労支援に向けた基盤を構築した
- ☑ 新 図書館との連携を学んだ

佐賀県内のがん患者・家族に対して切れ目ない相談支援・情報提供が行われる体制を整備する

	地域多職種向け研修会	がん相談支援センター連絡会
Plan （計画）	・地域多職種向けの研修会を計画する。	・がん相談支援センター・佐賀県健康増進課の連携体制を構築する。
Do （実行）	・佐賀県がん相談地域連携研修会in嬉野を開催した。	・がん相談支援センター連絡会の内規を作成し、四半期ごとに会を開催した。 ・メーリングリストを作成した。
Check （評価）	・県内の多職種（歯科医師含む）へがん相談支援センターの周知ができた。 ・他県からファシリテーター・参加者があったことで県境を越えた連携体制のアピールができた。 ・土曜日開催のためケアマネジャーの参加が少なかった。 ・計画的に準備ができず開催病院での負担が大きかった。	・がん相談支援センター連絡会が定期的に開催できている。 ・開催場所を4拠点病院で持ち回りとしたことにより、準備や運営・企画を学ぶことができた。 ・メーリングリストでの情報共有が可能になり、進捗状況が把握できるようになった。
Action （改善）	・今後も継続的に開催する。 ・県内のファシリテーター養成を検討する。 ・対象者に合わせ開催曜日を検討する。 ・スケジュールを作成し、計画的な開催を行う。	・今後も定期的・継続的に開催する。

佐賀県がん相談地域連携研修会in嬉野
（H27.6.27）

佐賀県内のがん患者・家族に対して切れ目ない相談支援・情報提供が行われる体制を整備する

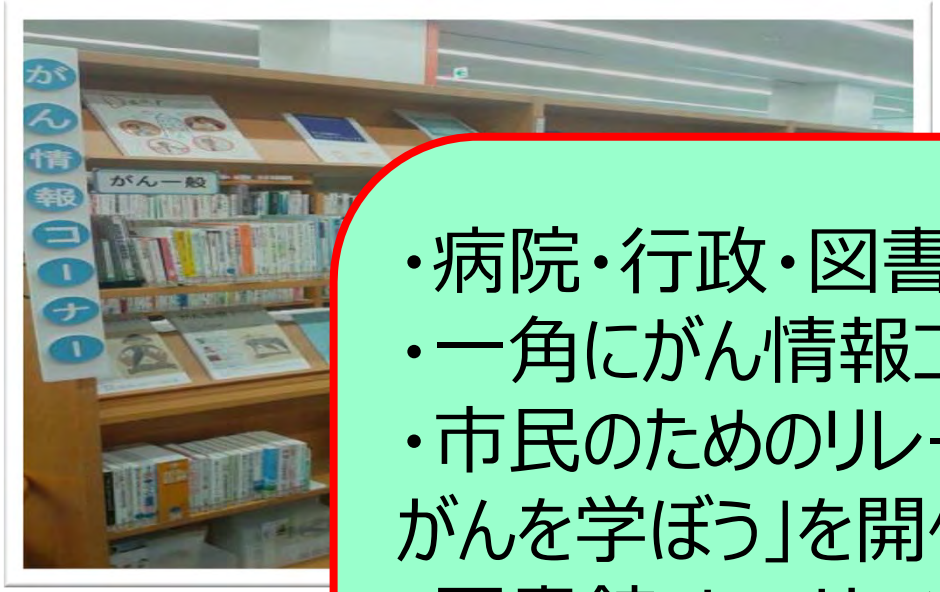
	新 県民への広報
Plan（計画）	・リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015佐賀への参加を計画する。
Do（実行）	・4拠点病院がん相談支援センターの展示ブースを開設した。
Check（評価）	・がん相談支援センターの展示ブースを設置したことで、県民へのＰＲができた。
Action（改善）	・広報の機会を捉え、今後も継続して実施していく。

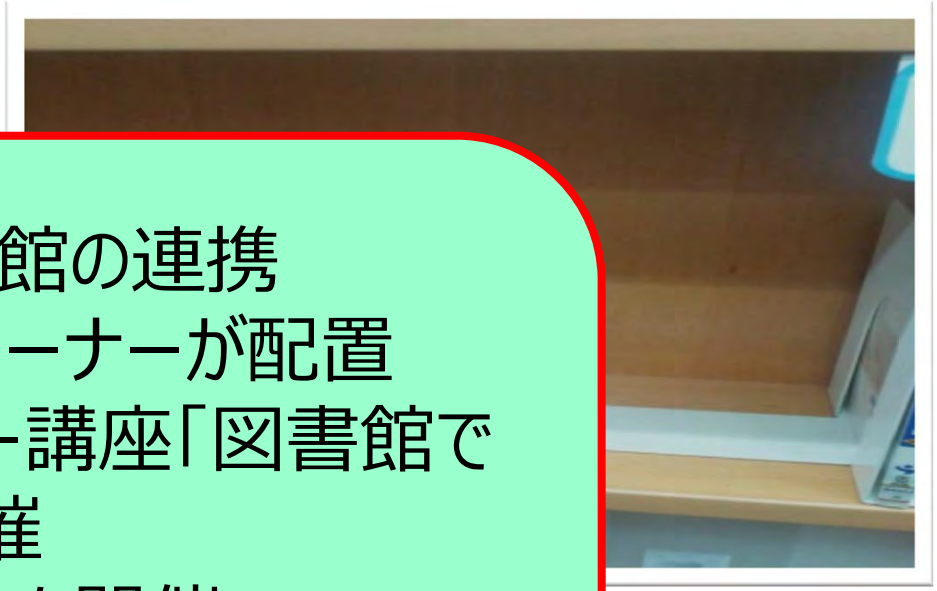
リレー・フォー・ライフ・ジャパン
2015佐賀
（H27.9.26～9.27）

佐賀県内のがん患者・家族に対して切れ目ない相談支援・情報提供が行われる体制を整備する

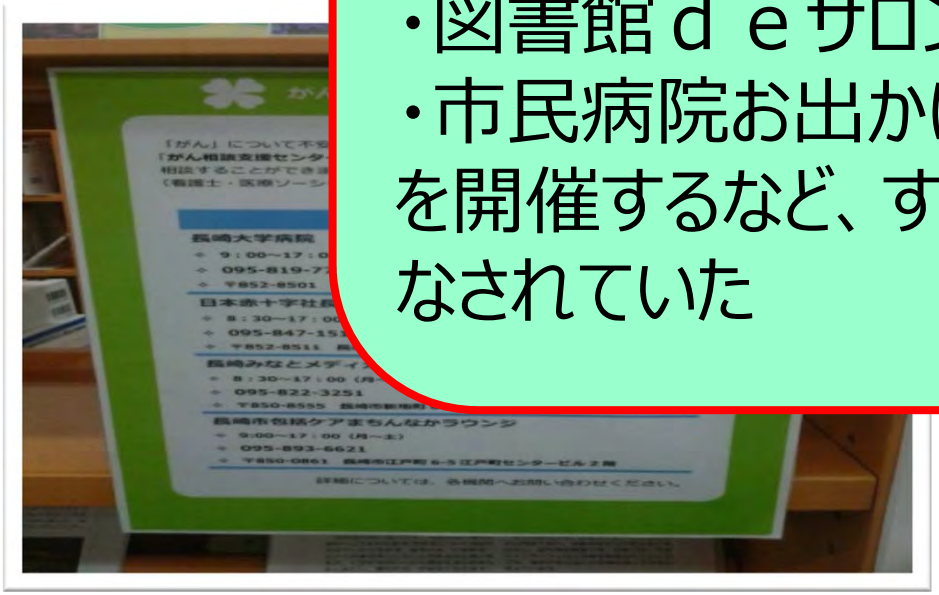
	新 地域連携
Plan（計画）	・がん相談支援センターを周知するため、市町・県立図書館と連携を図る。
Do（実行）	・長崎市立図書館を現地調査した。 ・佐賀県医療センター好生館と県立図書館の連携をがん相談支援センター連絡会で周知した。
Check（評価）	・図書館と連携した情報発信方法を知ることができた。 ・佐賀県医療センター好生館には県立図書館の分室があり、県立図書館と連携ができている。
Action（改善）	・がん相談支援センターの広報・周知が可能か等、図書館の実情を把握する。 ・図書館と連携体制の構築を行う。 ・図書館と連携ができるよう他県での研修会等へ参加する。

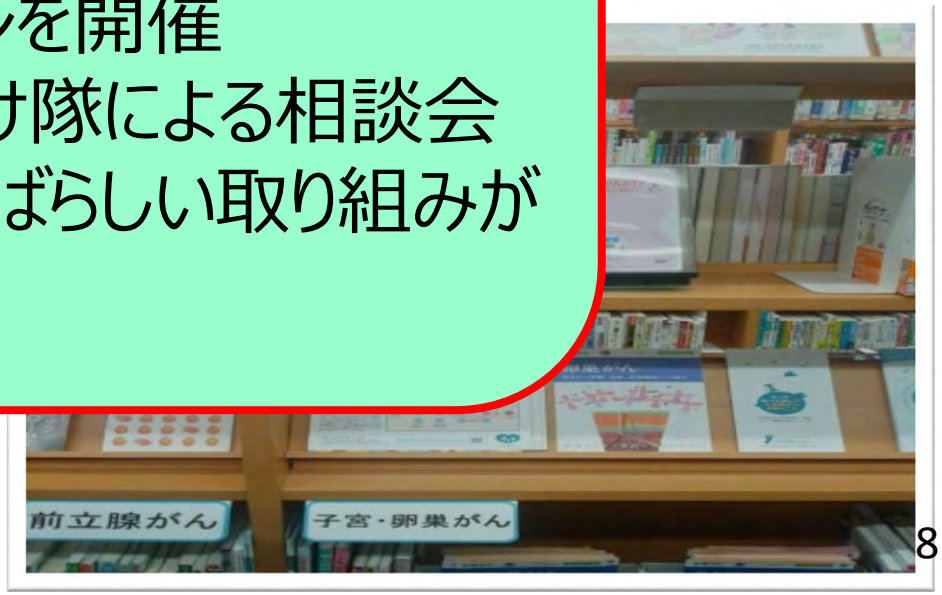
長崎市立図書館の視察
（H27.3.21）





・病院・行政・図書館の連携
・一角にがん情報コーナーが配置
・市民のためのリレー講座「図書館でがんを学ぼう」を開催
・図書館ｄｅサロンを開催
・市民病院お出かけ隊による相談会を開催するなど、すばらしい取り組みがなされていた





ビジョン：「佐賀県内のがん患者・家族に対して切れ目ない相談支援・情報提供が行われる体制を整備する」

佐賀県のがん相談支援センターの取り組み

- ☑ 地域多職種向け研修会を実施した
- ☑ がん相談支援センター連絡会（四半期ごと）を開催した
- ☑ 新 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015佐賀に参加をした
- ☑ 新 就労支援に向けた基盤を構築した
- ☑ 新 図書館との連携を学んだ

佐賀県は、佐賀県健康増進課様の多大なご協力により活動できており、非常に恵まれています。
密な連携ができていることが、私たちの自慢です。
佐賀県健康増進課のみなさま、深く感謝いたします。

ご清聴ありがとうございました。